

# 村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場対策 についての県からのお知らせ 12月号

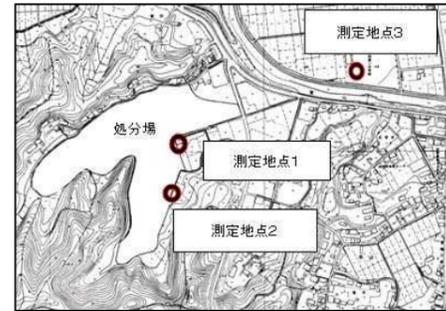
平成22年 12月1日  
宮 城 県  
発行：竹の内産廃処分場対策室  
電話：022-211-2691

県政の推進につきましては、日ごろ格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。処分場におきましては、施設の維持管理を実施するとともに、水質調査や硫化水素等のモニタリングを実施し、周辺環境への影響の有無について確認しております。

## 1 硫化水素モニタリングの結果（10月）について

処分場内で発生した硫化水素による悪臭の影響を24時間連続で調査しております。10月の調査結果は次のとおりでした。

- (1) 測定期間  
平成22年10月1日(金)  
～平成22年10月31日(日)
- (2) 測定地点  
測定地点1 発生ガス処理施設付近  
測定地点2 処分場東側敷地境界  
測定地点3 村田第二中学校
- (3) 測定結果



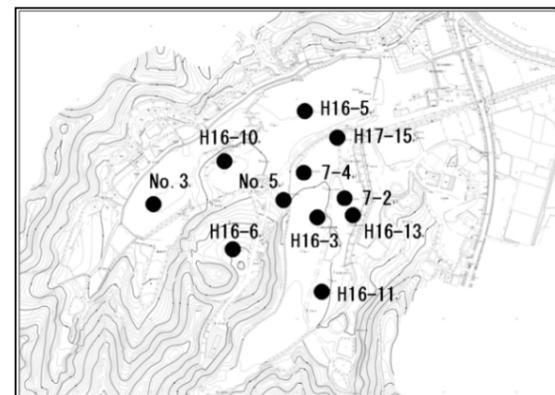
	硫化水素の最大濃度 (ppm)	認知閾値濃度*1 超過回数(回)	規制基準濃度*2 超過回数(回)	全測定回数*3 (回)
測定地点1	0.015	4	0	89,176
測定地点2	0.005	0	0	86,056
測定地点3	0.005	0	0	89,142

\*1 認知閾値濃度：硫化水素のにおいであることがわかる弱いにおい(0.006ppm)。  
\*2 規制基準濃度：悪臭防止法を準用した場合に硫化水素の規制基準として示される濃度範囲のうち最も低い(厳しい)濃度(0.02ppm)。  
\*3 全測定回数：機器点検等による欠測を除いた全測定回数。

## 2 発生ガス等調査の結果（10月）について

処分場内の11ヶ所のボーリング孔等における硫化水素等の状況を把握するため、毎月、発生ガス等調査を実施しております。10月の調査結果は次のとおりでした。

- (1) 調査日  
平成22年10月13日(水)
- (2) 測定地点  
処分場内11地点
- (3) 調査結果



(気圧：1009 hPa)

調査項目	地点名	7-2	7-4	H16-10	H16-11	No.3	No.5	H16-3	H16-5	H16-6	H16-13	H17-15	
水位	(m)	-1.83	-1.80	-1.77	-2.58			-2.59	-1.83	-16.77	-2.29	-2.75	
孔内温度(管頭下1m)	(℃)	22.1	23.3	24.0	21.3	22.8	20.8	21.8	20.9	21.4	21.8	21.6	
気温	(℃)	25.5	25.4	25.1	25.6	25.9	24.8	25.6	23.1	26.6	25.8	25.5	
浸透水	水温	(℃)	24.8	22.5	26.0	20.6			27.5	20.1	19.0	26.6	22.5
	透視度	(cm)	50以上	50以上	50以上	50以上			38	23	50以上	50以上	50以上
	pH		6.8	7.2	7.5	7.1			7.2	8.8	8.4	7.0	7.3
	硫酸イオン	(mg/l)	12	0.24	1.0	3.3			1.8	74	27	1.0	1.3
	塩化物イオン	(mg/l)	15	60	160	98			360	370	40	400	78
	電気伝導率	(mS/m)	130	130	170	240			400	200	76	380	160
発生ガス	酸化還元電位	(mV)	100	84	54	97			60	-130	65	95	91
	硫化水素	(ppm)	0.2未満	2	0.2未満	100	25	5	0.2未満	6	8	0.2未満	0.2未満
	二酸化炭素	(%)	3.0	5.0	1.5	10	0.25未満	8.0	6.0	10	0.25未満	5.0	0.5
	酸素	(%)	19	12	6未満	6未満	6未満	6未満	10	6未満	6未満	6	20
	メタン	(%)	6	37	55	74	21	23	60	80	56	49	8
	発生ガス量	(ℓ/min)	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.19	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.25	0.15	0.10	0.01未満

表中の硫化水素等の発生ガスの濃度は、ボーリング孔等の管頭下1mでの値です。  
地点名7-2, 7-4, H16-10, H16-11はガス抜き管です。ガス抜き管では、発生したガスを2つの活性炭塔で吸着処理しています。処理後の硫化水素濃度は、いずれも0.2ppm未満でした。  
表中で硫化水素濃度が100ppm以上の値を示した付近には多機能性覆土が設置されております。  
No.3及びNo.5の水位及び浸透水に係る調査は、浸透水噴出調査を行うため今月は未実施となっております。

## (4) 水位の調査結果の訂正について

平成22年8月号～11月号に掲載した水位の調査結果(平成22年6月～平成22年9月分)について、一部に誤りがありましたので、次のとおり訂正させていただきます。

掲載月	調査項目	地点名	H16-3	H16-5	H16-6	H16-13
8月号	水位(6月分)	(m)	-2.73	-1.95	-16.90	-2.31
9月号	水位(7月分)	(m)	-2.67	-1.90	-16.71	-2.41
10月号	水位(8月分)	(m)	-2.86	-2.03	-17.18	-2.49
11月号	水位(9月分)	(m)	-3.27	-2.27	-17.66	-2.71

## 3 12月の環境調査等について

12月は次のとおり環境調査等を実施する予定ですので、見学を希望される方は、事前に竹の内産廃処分場対策室まで電話でお申し込みください。

なお、都合により調査日程が変更となる場合がありますので、あらかじめ御了承願います。

### (1) 環境調査

#### ・発生ガス等調査

処分場内のボーリング孔等(11ヶ所)の発生ガス等調査を12月14日に実施する予定です。

・水質等調査

浸透水、地下水及び放流水等の水質調査及び地下温度調査を12月6日、12月10日に実施する予定です。

(2) 処分場内の維持管理

週3回、場内の巡回点検を実施します。巡回点検では、処分場の覆土の状況の確認や発生ガス処理施設等の点検を行います。

#### 4 表層ガス調査について

(概要)

処分場内の廃棄物層表層における発生ガスの分布状況を把握するために、表層ガス調査を実施します。今回の調査で得られた結果と、過去2回の調査結果を比較することにより、処分場の安定化の程度を確認しながら、処分場における支障発生のおそれを検証します。

(調査内容)

まず、過去に調査を行った箇所(30mの格子状に区画した箇所)を、一次調査地点として測量して現地に復元します。その地点を、自走式簡易ボーリングマシンにより掘削し、地温測定、土壌ガス採取、各ガスの現地測定を行います。

以上により得られたデータを整理し、ガスの濃度分布図を作成します。その後、調査結果を検討し、必要がある場合は二次調査の地点を選定します。

二次調査は、一次調査に準じて行いますが、調査地点は15mの格子状に区画した箇所に設定します。

(調査期間)

削孔及び現地測定は、11月29日頃から12月17日頃まで行う予定です。なお、日程は天候などの事情により、変更する場合があります。

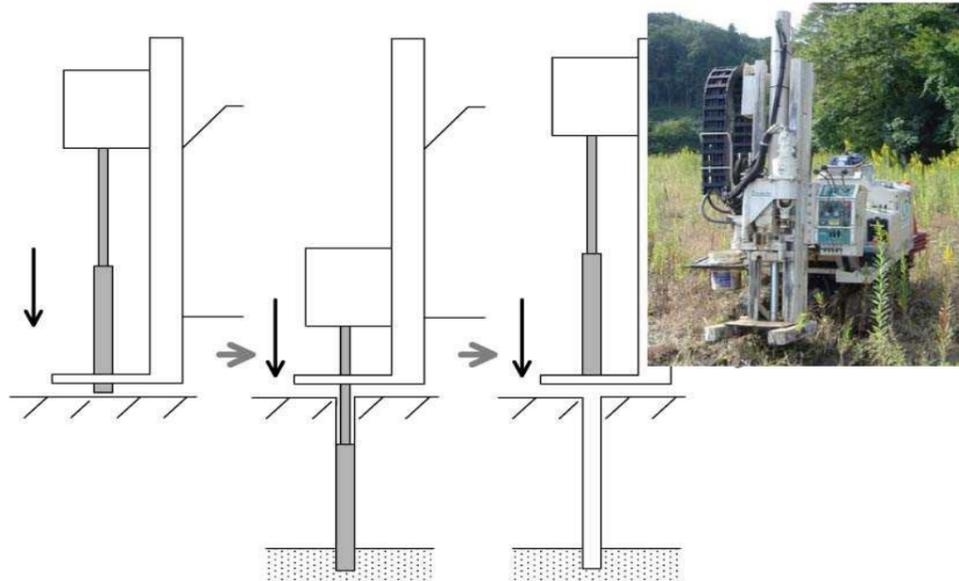


図 - 1 自走式簡易ボーリングマシンによる掘削方法

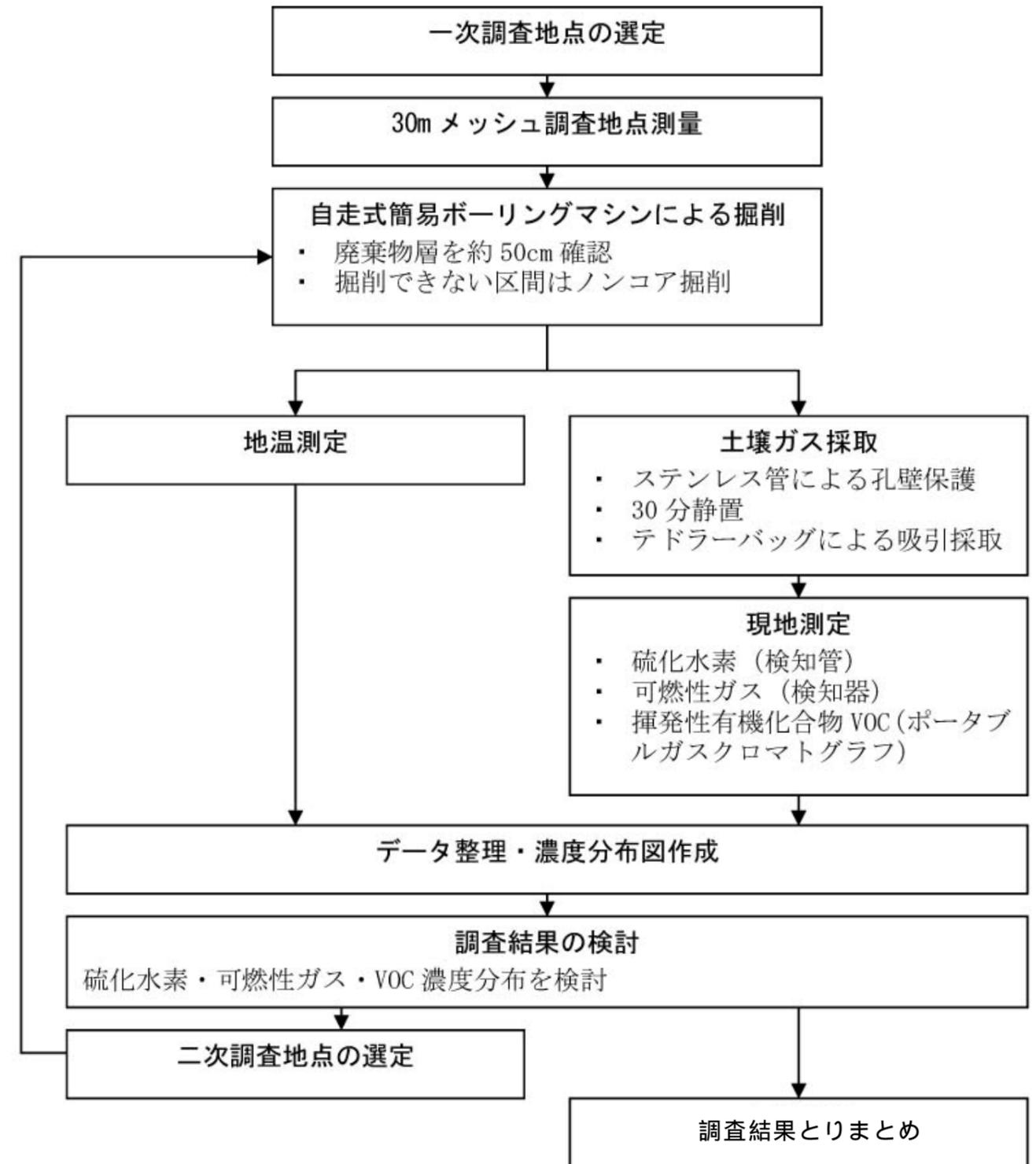


図 - 2 表層ガス調査の流れ